

ごのへ 議会 会だより

Gonoha Assembly News

議会広報
令和3年10月
第41号

第17回定例会(令和3年9月定例会)

令和2年度決算 ……	2	決算特別委員会 ……	4	第16回臨時会 ……	6	第17回定例会 ……	7
一般質問(5人) ……	9	議員インタビュー ……	14	元議員表彰・編集後記 ……	16		

みゆき保育園運動会 in 五戸ボード (人工芝)

©東京ハイキング五戸町



令和3年10月3日、人工芝にリニューアルした五戸ボードにて、みゆき保育園の運動会が行われました。

新型コロナウイルスは子どもたちの日常生活にも影響を及ぼしていますが、競技に一生懸命取り組み姿は、はつらつとして元気に満ちあふれていました。

令和2年度決算を認定

<財源構成>

自主財源 19.6% (町税など)	依存財源 80.4% (地方交付税など)
-------------------------	----------------------------

各会計の決算状況

会計名	歳入	歳出	差引	
一般会計	114億1790万円	111億8931万円	2億2859万円	
特別会計	後期高齢者医療	4億7856万円	4億7564万円	292万円
	国民健康保険	21億6302万円	21億5340万円	962万円
	介護保険	24億4714万円	23億1754万円	1億2960万円
	下水道事業	3億0418万円	3億0163万円	255万円
	農業集落排水処理施設事業	1億1830万円	1億1669万円	161万円
	簡易水道事業	8864万円	8755万円	109万円
	住宅用地造成事業等	447万円	435万円	12万円
	ケーブルテレビ事業	3117万円	3065万円	52万円
病院事業会計	収入	支出	差引	
企業会計	収益的収支	25億9062万円	25億7264万円	1798万円
	資本的収支	3億8606万円	5億8767万円	△2億0161万円

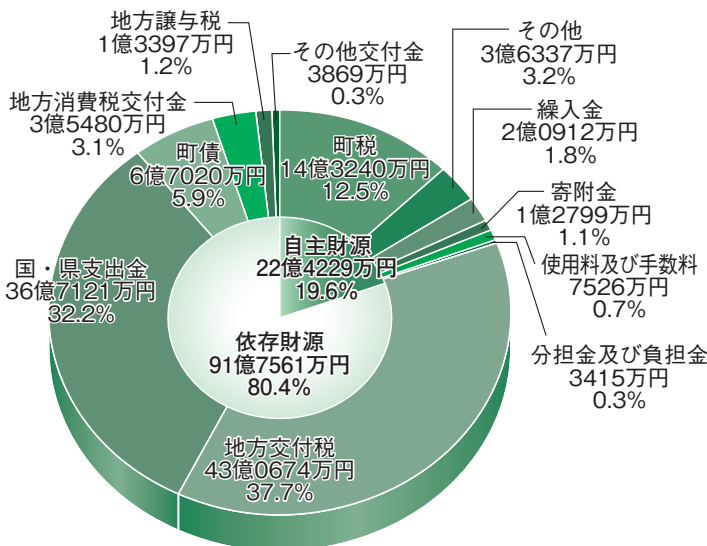
一般会計の自主財源である町税や繰入金などは19・6%となっており、地方交付税や町債などの依存財源が80・4%を占め、町財政の多くが国や県からのお金(交付税・支出金・交付金)に頼っています。

令和2年度決算状況

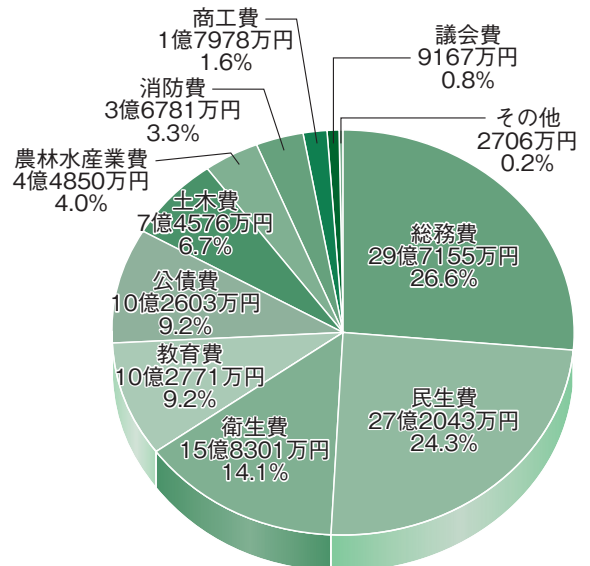
また、歳出の人件費や公債費(借入金返済)などの義務的経費は、歳出全体の32・8%を占め、前年度に比べ878万1千円の増額となりました。

一般会計決算

歳入



歳出



町税等の未収金の状況

区 分	令和元年度末	令和2年度末	増減額
町税*	8431万円	8052万円	△ 379万円
放課後児童クラブ保護者負担金	15万円	5万円	△ 10万円
給食費保護者負担金	275万円	241万円	△ 34万円
ブドク放牧場使用料	131万円	107万円	△ 24万円
道路占用料	1万円	1万円	0万円
町営住宅使用料及び共益費	524万円	375万円	△ 149万円
土地貸付料(五戸台地分)	245万円	246万円	1万円
奨学資金償還金	961万円	997万円	36万円
後期高齢者医療保険料	91万円	43万円	△ 48万円
国民健康保険税	1億2608万円	1億1118万円	△ 1490万円
介護保険料	340万円	305万円	△ 35万円
下水道受益者負担金・使用料	814万円	768万円	△ 46万円
農業集落排水分担金・使用料	253万円	190万円	△ 63万円
簡易水道使用料	668万円	592万円	△ 76万円
ケーブルテレビ負担金・利用料	85万円	95万円	10万円
合 計	2億5442万円	2億3135万円	△ 2307万円

*町税は、町民税・固定資産税・軽自動車税の合計額
 ※翌年度繰越分及び未還付額は除く

未収金(滞納)総額
2億3135万円
 令和2年度末の不納欠損額は2736万円*で前年度に比べ490万円増額、処分後の未収金は、2億3135万円*で、町税と国民健康保険税で82・9%を占めています。

***【不納欠損】**
 債権者が死亡し相続人がいない場合や、今後も徴収の見込みがたない場合、その金額を消滅させること。

町債(借入金)の状況

会 計 名	令和2年度末
一般会計	103億6711万円
下水道事業特別会計	24億0658万円
農業集落排水処理施設事業特別会計	5億6421万円
簡易水道事業特別会計	1億5886万円
病院事業会計	18億6493万円
合 計	153億6169万円
町民 1 人 当 たり	93万円

町債
 町財政の借入金である町債合計は、153億6169万円*で、前年度に比べて10億8432万円減額となりました。
「借入金町民一人当たり93万円」

基金
 一方、積立金である基金合計は、50億5677万円*で、前年度に比べて1億0371万円増額となりました。
「積立金町民一人当たり31万円」

基金(積立金)の状況

基金名	令和2年度末	基金名	令和2年度末
一般会計財政調整基金	20億6653万円	高齢者等肉用牛導入事業基金	423万円
減債基金(地方債償還のための積立)	6億7452万円	過疎地域自立促進特別事業基金	1億6412万円
土地開発基金	1億4578万円	ふるさと納税寄附金基金	1億1811万円
泉山教育振興基金	57万円	森林環境譲与税基金	1954万円
木村秀政教育振興基金	183万円	暮らしの道路基金	1000万円
公共施設等整備基金	2億0045万円	国民健康保険特別会計財政調整基金	3億1281万円
まちづくり特別事業基金	35万円	国民健康保険高額療養費貸付基金	509万円
地域福祉基金	101万円	介護保険給付費準備基金	2億3732万円
江渡恭助人材育成基金	145万円	下水道事業整備基金	2535万円
人材育成基金	1302万円	農業集落排水事業減債基金	228万円
肉用牛一貫経営支援基金	656万円	ケーブルテレビ事業基金	3739万円
地域振興基金	10億0846万円		
合 計			50億5677万円
町 民 1 人 当 たり			31万円

*現金・貸付金の額(動産・不動産は含まない)

令和2年度決算を審議

議員全員で構成する決算特別委員会(委員長：中川原賢治議員、副委員長：松山泰治議員)を設置し、令和2年度の一般会計決算、各特別会計決算及び病院事業会計決算について審議しました。

※委員会では議員のことを「委員」と呼びます。



議事進行する 中川原 賢治 委員長

決算に対する 主な質疑

一般会計歳入

町税不納欠損額

問 豊田孝夫委員

町税の不納欠損額が1290万円余計上されている。コロナ禍の影響もあつたかと思うが、不納欠損処分するに至った原因は。

答 竹洞税務課長

当事者との話し合いや、督促、催促の手続をとり納付していただけるよう働きかけを行ったが、法令に定められている消滅時効を迎えたため、不納欠損処分したものである。

町税収入未済額

問 豊田孝夫委員

町税の収入未済額が8000万円余計上されている。この額の一定の割合が、翌年度の不納欠損額として計上される可能性があると思うが、どのように対処していくのか。

答 大久保副町長

不納欠損額や収入未済額は、町税だけではなく他の会計にもあるため、今年度中に関係する担当課長が集まって対策を検討することとしている。不納欠損額や収入未済額を少なくするよう努力していく。

一般会計歳出

【総務費】

立場公園トイレ建設 工事費

問 三浦俊哉委員

この工事に関連して、令和2年度当初予算に、水道加入負担金も計上さ

れていたが、執行されなかつたのはなぜか。

答 川村財政課長

当初は、町の方で負担する考えであったが、協議の結果、新町自治会の方で負担していただくことになった。



立場公園内に新設されたトイレ

新社会人ふるさと 定住奨励金

問 川崎七洋委員

この奨励金の内容と実績は。

答 手倉森総合政策課長

新型コロナウイルス感染症リスクの高い人口密集地を避け、県内企業等に就職し、五戸町に定住してもらうことを目的に交付している。

奨励金の額については、

県内企業等に就職内定すれば10万円、その後、五戸町に定住すれば更に15万円を交付する。

交付実績としては、件数が10件で、合計250万円を交付している。

問 川崎七洋委員

この事業によって、本来町外に行く予定だった方が、五戸町に居続けることができるようになったという声が多ければ、この事業は成功だったと判断できると思うが、交付した方に対してその後の調査などは行ったか。

答 手倉森総合政策課長

この制度ができて間もないため、交付した後のことについては、今後調査し検証していくこととしている。

報償費(ふるさと 納税返礼品等)

問 川崎七洋委員

令和2年度のふるさと納税受入件数は9551件、受入額は1億171



長いも



りんご



青森シャモロック

人気のある主なふるさと納税返礼品

9万4千円とのことである。この中に、ふるさと納税を複数回納税されたリピーターはどのくらいいるか。

答 川村財政課長

リピーターについては不明である。今後集計するように検討したい。

町税過誤納返還金

問 豊田孝夫委員

還付金が生ずるに至った経緯は。

答 竹洞税務課長

還付金で一番多いのは、法人町民税である。制度上、中間納付というものがあり、事業年度終了後に確定申告した結果、中間納付で納付した額の方が多かったため還付するというケースが多々ある。また、他の町税においても、異動や所得の更正等により、税額が減額となった場合に還付している。

町税過誤納返還金

問 豊田孝夫委員

前記で説明していただいた町税過誤納還付金とは別に、町税過誤納返還金という科目があるが、還付金とどのような違いがあるのか。

答 竹洞税務課長

還付金は法令に基づき、5年前まで遡って還付で

きるが、例えば、データ

の入力誤り等のミスで還付金が発生するなど、町側に落ち度があった場合に、5年を超えて還付する時に使用する科目である。

統計調査員報酬

問 三浦俊哉委員

統計調査員報酬542万1千円余の内訳は。

答 手倉森総合政策課長

令和2年度は2つの統計調査があった。1つ目は、工業統計調査で、調査員3名分として5万7千円余を計上している。2つ目は、5年に1度の大きな調査である国勢調査で、調査員88名及び指導員14名分として536万4千円余を計上している。

農林水産業費

りんご緊急需給対策事業費補助金

問 豊田孝夫委員

この補助金はどういった場合に交付されるのか。

答 中村農林課長

生食用りんごの在庫が一定量を上回った場合や、市場価格が一定基準を下回った場合などに、需給価格の安定を目的として補填する事業である。県35%、町15%、出荷団体50%の負担割合で運用している。

商工費

五戸まつり事業費補助金

問 鈴木隆也委員

この補助金の内容は。答 手倉森総合政策課長

コロナ禍の影響で、五戸まつりが中止となったが、まつりの伝統の継承と、お囃子の稽古に励む山車組への支援ということで、各山車組に10万円を補助したものである。

問 鈴木隆也委員

各山車組でどのように使われたか報告は受けているか。

答 手倉森総合政策課長

各山車組から報告は受けており、使い道の主なものとしては、まつりで使用する太鼓やバチの修繕などに使われている。



お囃子の稽古に励む子どもたち

町観光振興事業費交付金

問 鈴木隆也委員

この交付金1180万5千円の内容は。答 手倉森総合政策課長

この交付金については、2件交付している。1件目は、観光の総合的な振興発展のための補助金として、1120万5千円を五戸町観光協会に交付している。

2件目は、コロナ禍の影響により、ごのへ夏まつりの花火大会が中止になり、集まった有志で花火を打ち上げるといこととで、それに対する交付金として60万円を交付したものである。

問 鈴木隆也委員

五戸町観光協会における交付金の使い道はどのようになっているか。答 手倉森総合政策課長

毎年報告を受けており、そのほとんどが観光協会の職員の人件費となっている。

問 鈴木隆也委員

令和2年度は、コロナ禍の影響により、様々な観光事業が中止又は延期になる中で、観光協会の活動のあり方というものを見直すきっかけになった年であると考えている。例年と同じ交付金額を交付して、それに見合った活動がなかなかできないという現状にあると思われるが、観光協会のあり方の考えについて、変化や進展はあったか。

答 大久保副町長

観光協会の方にも会議等があれば、観光協会の方の問題についての投げかけを行っている。本来であれば、自立してやっていたら一番いいが、そうもいかなかったため、例えば、町の業務の一部を手伝っていたりなども含めて議論していきたいと思っているので、もう少し時間をいただきたい。

消防費

非常備消防費

問 鈴木隆也委員

予算執行されなかった金額が、685万3千円余となっており、住民に対して適切な行政サービスが行われたのか疑問である。この予算を消防団員の福利厚生や処遇の向上に使うべきと考えるがいかがか。



【答】石田総務課長

消防の場合、どうしても災害や火事が発生した場合、出動手当等を支払うこととなるため、年度末までどのような災害がいつ起こるか分からないことから、多めに予算を計上している。この事務処理については、専決処分で調整することができないか検討したい。

また、消防団員の福利厚生についても、本団の方とも協議し今後検討していきたい。

**簡易水道事業
特別会計歳出**

**水道施設維持管理
修繕工事費**

【問】鈴木隆也委員

工事費として1500万円余が使われたということだが、どのような工事に使われたのか。

【答】高谷都市計画課長

昨年7月に雷の被害を受けた、又重地区簡易水道施設の復旧工事に68

2万円、荷軽井地区簡易水道施設の復旧工事に231万円の工事をそれぞれ実施している。その他として、水道メーターの交換工事244万2千円など、主に維持修繕的な工事を実施している。

【問】鈴木隆也委員

布設されている水道管等の老朽化が進み、万が一地震などの災害が発生した場合、受益者の皆様が使えなくなってしまう可能性が非常に大きくなっている。耐震化などの改修修繕をどのような方向で進めていくのか。

【答】高谷都市計画課長

確かに水道管の老朽化が進んでおり、耐震化は必要であると認識している。ただ、どうしても事業費が大きく、国の交付金の補助率が4分の1と低いいため、他の交付金を活用できないかなども調査しながら、必要な箇所から順次対応していきたい。

第16回 令和3年8月 臨時会

8月24日に1日間の会期で臨時会が開催されました。

議決件数 3件			
原案可決	同意	承認	認定
2件	1件	0件	0件

町長提出案件

報告 1件

① 損害賠償請求に関する和解及び損害賠償の額の決定

【内容】

・町道下長下観音堂線で発生した道路上の舗装劣化による車両物損事故の損害賠償請求に関するもの
(報告は採決しません)

条例の一部改正 1件

① 五戸町個人情報保護条例及び五戸町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正

【内容】

・デジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う行政手続における特定の個人を識別するための番号の利

用等に関する法律」の改正に伴い、所要の改正を行うもの

審議の結果

全員賛成で可決

令和3年度補正予算 1件

① 一般会計補正予算 (第3号)

・補正額(増額) 1284万7千円
・予算総額(補正後) 88億9663万8千円

【主な内容】

・プレミアム商品券発行事業補助金 967万1千円
・道路環境整備業務委託料 227万6千円

審議の結果

全員賛成で可決



五戸町・新郷村 特別プレミアム付共通商品券

町長追加提出案件

人事 1件

① 副町長の選任

おおくぼ

◎ 大久保 均氏(72歳)

大字切谷内字大森

【再任】



主な職歴

東京都庁職員
旧福地村職員

企画振興課参事

南部町職員

商工観光課参事

五戸町議会議員

副議長

任期

令和3年9月8日
令和7年9月7日

審議の結果

全員賛成で同意

第17回 令和3年9月 定例会

9月9日から15日までの7日間の会期で定例会が開催されました。

議決件数 16件			
原案可決	同意	承認	認定
12件	2件	0件	2件

町長提出案件

報告 3件

- ① 令和2年度青森県新産業都市建設事業団の決算について
- ② 令和2年度決算に基づく財政の健全化判断比率について
- ③ 令和2年度公営企業決算に基づく経営の資金不足比率について

(報告は採決しません)

計画の策定 1件

- ① 五戸町過疎地域持続的発展計画の策定について

【内容】

・令和3年度から令和7年度までの5か年に係る五戸町過疎地域持続的発展計画を策定するもの

審議の結果 全員賛成で可決



条例の制定 1件

- ① 五戸町産業振興促進区域における固定資産税の特別措置に関する条例

【内容】

・地方税法の規定に基づき、過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法に規定する過疎地域持続的発展市町村計画に記載された産業振興促進区域における固定資産税の特別措置を定めるもの

審議の結果

全員賛成で可決

条例の一部改正 1件

- ① 五戸町過疎地域自立促進特別事業基金条例の一部改正

【内容】

・過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法に基づき、所要の改正を行うもの

審議の結果

全員賛成で可決

- 令和3年度補正予算 8件
- ① 一般会計補正予算 (第4号)

【内容】

・補正額(増額)
4億5555万4千円
・予算総額(補正後)
93億5219万2千円

【主な内容】

・公共施設等総合管理計画改訂業務委託料
292万6千円

・町有施設修繕工事
370万6千円

・木村秀政ホール改修基金構想策定業務委託料
105万8千円

・介護保険特別会計繰出金
352万7千円

・病院事業会計負担金
2億8424万3千円

・新型コロナウイルス予防接種業務委託料
1829万円

・簡易水道事業特別会計繰出金
176万5千円

・浄化槽事業特別会計繰出金
21億7212万4千円

【主な内容】

・中山間地域等直接支払制度交付金
43万8千円

・飲食店専用応援チケット発行事業費補助金
708万3千円

・道路環境整備業務委託料
2200万円

・町道維持修繕工事費
1620万円

・町道舗装修繕工事費
1875万円

・下水道事業特別会計繰出金
801万6千円

・住宅用地造成事業等特別会計繰出金
178万2千円

・防災行政無線施設整備工事費
125万円

・管内中学校施設改修工事費
152万4千円

・補正額(増額)
319万5千円

・予算総額(補正後)
21億7212万4千円

・国民健康保険事業費納付金
△709万6千円

・保険給付費等交付金償還金
1029万1千円

③ 介護保険特別会計補正予算(第1号)
補正額(増額)
352万7千円

・職員手当等
323万5千円

・職員共済組合負担金
29万2千円

④ 下水道事業特別会計補正予算(第1号)
補正額(増額)
801万6千円

・予算総額(補正後)
3億9191万4千円

② 国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
補正額(増額)
197万円

・馬淵川流域下水道維持管理費負担金精算金
317万9千円

⑦ このへ議会だより 第41号

⑤ 浄化槽事業特別会計

・補正予算(第1号)
・補正額(増額) 243万1千円

・予算総額(補正後) 4345万7千円

【主な内容】

・職員手当等 106万2千円
・浄化槽設計業務委託料 99万円

⑥ 簡易水道事業特別会計

・補正予算(第1号)

・補正額(増額) 176万5千円

・予算総額(補正後) 8768万6千円

【主な内容】

・一般職給 36万6千円
・職員手当等 101万7千円

⑦ 住宅用地造成事業等

・特別会計補正予算

(第2号)

・補正額(増額)

178万2千円
・予算総額(補正後) 2858万9千円

【主な内容】

・水道管引込工事負担金 178万2千円



分譲受付を開始したひばり野の丘 宅地分譲地



お問い合わせは
役場都市計画課まで

⑧ 病院事業会計補正予算

(第1号)

○収益的収入

2億3506万9千円増の
21億6890万9千円

【主な内容】

・一般会計からの繰入金
によるもの

○収益的支出

671万円増の
27億3640万4千円

【主な内容】

・医師住宅1号除却工事
費を資本的支出へ予算
の組換えをすることに
よるもの
・令和2年度に購入した
医療機器等に係る減価
償却費によるもの

○資本的収入

5210万3千円増の
4億4848万1千円

【主な内容】

・一般会計からの繰入金
によるもの
○資本的支出

568万5千円増の
6億9206万4千円

【主な内容】

・収益的支出から組換え
の医師住宅1号除却工
事費及び医師住宅1号
設計業務委託料による
もの

審議の結果

全員賛成で可決

認定 2件

① 令和2年度五戸町一般
会計・特別会計歳入歳
出決算認定について

② 令和2年度五戸町病院
事業会計決算認定につ
いて

(詳細は2〜3ページ、
審議内容は4〜6ページ)

審議の結果

全員賛成で認定

町長追加提案案件

人事 2件

① 教育委員会委員の任命

◎小泉 等氏(46歳)

大字豊間内字大開

【再任】

主な職歴等

小泉建具製作所(自営)
五戸町立五戸小学校
PTA副会長

任期

令和3年10月1日〜
令和7年9月30日

② 固定資産評価審査委員会

委員の選任

◎金 正夫氏(68歳)

大字切谷内字大森

【新任】

審議の結果

全員賛成で同意

議会提出案件

意見書 1件

① コロナ禍による厳しい
財政状況に対処し地方
税財源の充実を求める
意見書について

【内容】

・新型コロナウイルスの
感染拡大は、変異株の
猛威も加わり、我が国
の各方面に甚大な経済
的・社会的影響を及ぼ
しており、国民生活へ
の不安が続いている中
で、地域の実情に応じ
た行政サービスを継続
的に提供していくため
に、地方税財源の充実
を強く国に要望するも
の

審議の結果

全員賛成で可決



主な職歴等

三菱製紙株式会社
八戸工場

社会福祉法人

三戸町社会福祉協議会

任期

令和3年9月19日〜
令和6年9月18日

一般質問



おがた ひろゆき
尾形 裕之 議員

◆五戸のちからを五戸のちから、世界へ未来へと発信し、一人ひとりの命輝く地宝自治体五戸建設のための施策を

町長 生理の貧困対策や手話言語条例の制定など、SDGsの概念を活用しながら持続可能な地域づくりを目指す

◆生理の貧困対策として、生理用品を無償配布しては

質問①

青森県並びに県内17市町村では、女性の生理用品を無償配布している。五戸町ではいつやるのか。

答若宮町長

当町においても、経済的困窮や家庭的な理由で生理用品の用意ができない方に対して、災害備蓄用品等を活用した無償配布の体制を整え支援できるようにしたい。

配布の際には、プライバシーに配慮し、役場などの窓口を設置するカード提示のみで受け取れるようにする。また、中学校については、保健室で養護教諭を通じて受け取れるよう対策する。

令和3年度9月補正予算で関連予算を要求しており、可決後、速やかに進めていく。

◆手話言語条例の制定を

質問①

以前にも質問したが、五戸町ではいつ手話言語条例を制定するのか。

答若宮町長

条例制定に向けた活動として、令和2年度は、五戸町ケーブルテレビで手話番組を放送し、令和3年度は、町の補助事業により、手話普及活動事業を計画している。

条例の内容についても、地元関係団体等の協力を得ながら、人材育成及び手話言語に対する理解を広げられるような内容等を協議・検討し、令和4年3月定例会に条例案を上程する予定である。

また、聴覚障がい者による世界デフ陸上選手権において、当町出身の佐々木琢磨さんが銀メダルを獲得したことも、条例制定に向けて勢いをつけてくれたと感じている。

◆最近耳にしたり目にしたりするSDGs(持続可能な開発目標)を町民に浸透させるには?

質問①

持続可能でよりよい世界を目指す2030年までの国際目標、いわゆるSDGsについて、「五戸のおんこちゃん」を活用し町民に周知する考えはないか。

答若宮町長

原作者である東京ハイジさんに依頼し、SDGsに関するポスターを制作・公開・周知できればと考えている。

意見

SDGsを町民に浸透させるための事例として、岩手県釜石市の防災教育について紹介したい。

群馬大学大学院の片岡敏孝教授は、東日本大震災の8年前から釜石市の防災・危機管理アドバイザーを務めてきた。その中で、片岡教授が釜石の子どもたちに伝えたのが、「避難の3原則」である。

◆「避難の3原則」とは

① 想定にとらわれない
・各地域で作成しているハザードマップは、あくまでも予想であって、安全と判断されていない場所でも油断しないこと

② 最善をつくせ
・一時的に避難した場所に留まることに固執せず、より安全な別の場所はないかを考えるなど、その時にできる最善の避難行動をすること

③ 率先避難者たれ
・通常私たちは、「自分は被害に遭わないだろう」と考えがちだが、この考えを排除し率先して避難すること

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



震災時の大津波で児童が校庭を駆け出して高台に向かったことや、中学生が率先避難者となって小学生を導いたことなど、この3原則を忠実に実行した結果、約3千人の小中学生が無事に避難したことで、「釜石の奇跡」と言われるようになったという事例がある。

この事例に学び、SDGsの取組も同様に、行政と町民が目標に対して、受け身ではなく、主体的な姿勢のもとで、積極的な情報収集や判断をして行動する、アクティブ・ラーニングを実践していくべきであると考えます。

9月定例会では5人の議員が一般質問を行いました。一般質問は、一般行政、教育、選挙、農地行政など町が行う行政全般について質問できます。

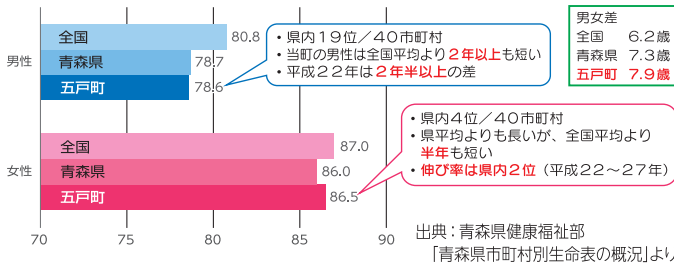


すずき りゅうや
鈴木 隆也 議員

◆コロナ禍における健康診断受診率向上のための取組は

町長 パンフレットの配布やハガキによる勧奨など地道に取り組んでいく

五戸町の平均寿命はどのくらい？



健康診断等実施計画」において、計画期間を平成30年度から令和5年度までの6年間とし、最終年度には60%の目標達成に向けて取り組んでいる。

質問①
町長は公約で、健康診断受診率日本一のみならず、掲げているが、これまでの取組と成果は。

答 若宮町長
健診の受診率については、「第3期五戸町特定健康診断等実施計画」において、計画期間を平成30年度から令和5年度までの6年間とし、最終年度には60%の目標達成に向けて取り組んでいる。

① 健診の対象者に対して受けられる健診項目を明記した「町民健診のお知らせ」の送付

② 約190名の保健協力の戸別訪問による受診勧奨

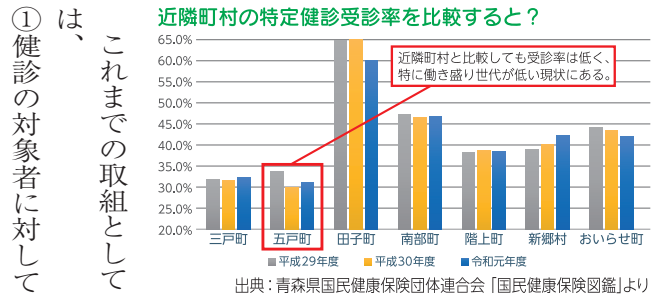
③ 町内商店で利用できるうまっこのカードを活用した健康ポイントの付与

などである。

成果については、取組を始めてから十分な期間が経過していないため、効果が明確に表れていない。(詳細は右図)

近隣町村の特定健診受診率を比較すると？

これまでの取組として



新型コロナウイルスの感染を恐れて、健診の受診を控える方が多くいるようである。

コロナ禍における健診受診率向上のための取組は。

答 若宮町長
生活習慣病やがんの早期発見には、定期的な健診と適切な受診が重要である。健康が気になる今だからこそ、健診は予定どおり受けてもらいたい。

町ではワクチン接種会場などで健診を勧めるパンフレットの配布や、業務委託により人工知能データを用いて受診勧奨すべき対象者を絞り込み、勧奨ハガキを送付している。

コロナ禍により、会議や会合などで住民と直接接触して受診勧奨することが難しいため、通知を強化し、できることを地道に継続していく。

◆コロナ禍における児童生徒の心のケアは

教育長 教師が一人一人の児童生徒に寄り添うことが最重要

質問①
コロナ禍においてオンライン授業を行う小中学校があるようだが当町での取組は。

答 澤田教育長
国が進める「GIGAスクール構想」を受け、当町でも児童生徒に一人一台の端末を完備し、高速大容量の通信ネットワークを整備した。

非常に難しいことであるが、通信ネットワーク環境のない家庭があること、小学校低学年では困難であることなどが課題である。

通信ネットワーク環境の整備に関する検討を重ね、教師の指導技術の向上を図りながら体制づくりに努めたい。

非常時にあって、オンライン授業を実施できる環境整備は必要と認識しているが、通信ネットワーク環境のない家庭があること、小学校低学年では困難であることなどが課題である。

通信ネットワーク環境の整備に関する検討を重ね、教師の指導技術の向上を図りながら体制づくりに努めたい。

長引くコロナ禍により、不安を抱える児童生徒の心のケアは。

質問②
感染病に対する差別や偏見、誹謗中傷などは決してしない、させないこと指導している。

児童生徒の悩みやストレスによる変化を察する際には、教師が一人一人に寄り添うことが最も重要である。養護教諭やスクールカウンセラー等による支援も講じながら、家庭と学校が一体となり、子どもたちを守りたい。



一般質問



豊田 孝夫 議員

◆高齢者が住みやすい環境整備を

町長 町タクおでかけタクシー事業など
高齢者に優しいまちづくりを実施
していく



質問①

少子高齢化が叫ばれて久しいが、当町においても例外ではなく高齢化が進み、日常生活をする上でいろいろと不便な点が顕在化しており、高齢者に優しいまちづくりが求められている。

町では、高齢者の外出促進支援の実証実験として、町タクおでかけタクシーを本年7月12日から8月10日までの期間限定で行ったが、利用者の反応はいかがであったか。

答 若宮町長

好評であったと理解している。利用者の反応としては、

・2人以上の条件ではなく1人でも利用できるようにしてほしい。
・利用回数を2回でなく、もっと増やしてほしい。

質問②

期間中の延べ利用者は何名であったか。また、1人2回までと限定したのはなぜか。

答 若宮町長

利用件数は67件で、延べ利用人数は、135名であった。今回の実証実験は30日間であったため、2回までとした。

質問③

町タク事業は生活支援サービスの観点からとても良い施策だと思うが、

改善点等はあったか。今後も、同様の事業を行う予定はあるか。

答 若宮町長

コロナ禍での実施であったため、利用件数、人数ともに想定より少なかった。今回の実証実験では、対象年齢を70歳以上に引下げたり、運転免許証を返納すれば65歳以上も対象としたりするなど、利用条件の見直しを検討する。

次回の実証実験は、冬の期間の路面状況の悪い、来年1月から2月頃を予定している。

質問④

一人暮らしの高齢者の方々を把握しているか。また、何か異変があった場合の対策は。

答 若宮町長

毎年3月末と9月末の年2回確認を行っており、3月31日時点で451名を把握している。

何か異変があった場合の対策として、交通及び配達等を行っている26事業所と協定書を締結し見守り体制を構築している。

質問⑤

防災無線が天候等で聞き取れない場合の対策は。

答 若宮町長

防災無線の放送内容を、電話で24時間いつでも聞くことができる電話応答システムの導入や、五戸ちゃんねる、町ホームページ等を通じて情報提供する体制を整えている。

◆あいさつ日本一のまちづくりに

おける取組内容は
教育長 あいさつ日本一を目指す
という意気込みが大切

質問①

広報このへまち7月号に、『五戸町さわやかほえみあいさつ運動を実施します』と題して、『あいさつ日本一のまちづくりを目指します!』と掲載があったが、どういった取組をしているのか。

答 澤田教育長

横断幕とタスキを作成し、職員が関係団体の方々と一緒にあいさつ運動を行っている。

本運動を通じて、あいさつの飛び交う様子が、町内の至るところで見られることが理想である。

◆五戸町のマイナンバー普及率は

普及率は

町長 国全体の普及率よりも低い

質問①

当町でのマイナンバーカードの普及率は。また、今後どのような使われ方を想定しているか。

答 若宮町長

当町での普及率は、25%となっており、国全体の普及率38%よりも低い水準となっている。

今後、健康保険証や運転免許証との一体化が検討されており、普及も加速するものと考えている。





なか がわら けんじ
中川原 賢治 議員

◆若宮町長の政治理念と政治姿勢は

町長 次世代につないでいくという理念と、そのための政策を着実に実行していくという姿勢のもと、誠心誠意努力を続けることである

質問①
町長は行政執行のトップであると同時に政治家でもある。政治力を発揮し町勢の発展に尽くすことが必要であると思う。町長はどのような政治理念を持ち、それを遂行するためにどのような政治姿勢で取り組むのか。

答 若宮町長
私の政治理念は、平成16年7月に旧五戸町と旧倉石村が合併した際に作成された合併まちづくり計画をはじめとする、平成時代の五戸町のまちづくりを汚すことなく、現在の新たな時代のまちづくりを生かし、更に成長させ、確実に次世代へつないでいきたいということである。

次に、私の政治姿勢についてだが、2年前の町長選において私自身の思いが詰まった政策集『新たな時代へ!!5つの五戸町づくり』を公表している。皆様にお示しした政

策を一つ一つ具現化し、行政サービスとして公平に還元していく作業を、日々ひたむきにやり続けることが、私の取り組むべき姿勢なのではないかと思う。いずれにしても、「全ての人にまごころと思いやりを」の気持ち忘れずに皆様に寄り添いながら、誠心誠意努力を続けていく。それが私の政治姿勢である。

質問②
町長の大きな仕事は町のための予算獲得であると思う。トップセールスマンである町長は、どのように予算を獲得しているのか。

答 若宮町長
国や県で行っている補助事業を精査し、国会議員や県議会議員の力も借りながら、町民の利益になるような活動をしなければならぬと思っ

◆町たばこ税の確保対策と活用方法は

町長 たばこ販売業者への支援を継続し、喫煙者に配慮した環境づくりに活用できるか検討する

質問①

五戸町には、毎年1億1000万円余のたばこ税の税収がある。2018年10月から、たばこ税が段階的に増税されることにより、喫煙者のたばこ離れが加速している。たばこ税確保は厳しい状況にあると思うが、たばこ税の税収確保の施策は。

答 若宮町長

たばこ税は、五戸町内の販売店が仕入れた、たばこの本数に応じて課税されるため、税収確保には、喫煙者に対して町内の販売店でのたばこ購入を促すことが重要になる。町では、たばこ販売業者で組織する団体に対して、たばこ売上推進事業費交付金を交付し、販売促進に向けた取組を支援している。

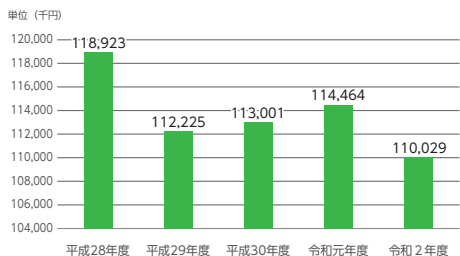
質問②

令和3年1月20日付け総務省自治税務局から発出された、「令和3年度地方税制改正・地方税務行政の運営に当たつての留意事項等について」の中で、望まない受動喫煙対策の推進や、今後の地方たばこ税の継続的かつ安定的な確保の観点から、屋外分煙施設の整備にたばこ税を活用するよう通知されているが、町としての考えは。

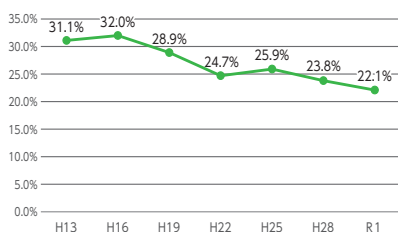
答 若宮町長

健康増進法の改正に伴い、令和2年1月から、五戸町内の役場などの公共施設は敷地内全面禁煙としている。したがって、分煙施設の設置については、国において判断する問題であると考えるので、町独自で判断するには非常に厳しいものがあると思っ

五戸町における直近5年間の町たばこ税収入



青森県における成人喫煙率の推移



出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」より

しかしながら、たばこ税は当町の貴重な自主財源であるので、町民の皆様いたばこ税の重要性を周知していきたい。

一般質問

◆町民の憩いの場として利用されている ひばり野公園の管理徹底を

教育長 利用者が安心して安全に利用できるように改善や修繕を行っていく



かわむら ひろあき
川村 浩昭 議員

質問①

ひばり野公園には、陸上競技場と町民プールの中間に池やベンチがあって、町民の憩いの場として素晴らしい場所があるが、手入れが滞っているように見える。

どこがどのように管理しているのか。

答 澤田教育長

現在、ひばり野公園の管理は、町が指定管理を委託している五戸町スポーツ振興公社が行っている。公園内を定期的に見回りし、施設、設備、遊具等の維持管理を主にしている。その他、芝生や植栽などについては、別途専門業者に委託し維持管理を行っている。

質問②

2年ほど前から、池にいたはずのコイが一匹もいなくなったのはなぜか。

答 高嶋教育課長

コイの管理についても、五戸町スポーツ振興公社が行っているが、平成30年冬、越冬のため、池から町民プールに移動させて管理していた際、全て死んでいるのを発見したとのことであった。今後、このようなことがないように、これまで以上に連絡を取り合いながら管理していきたい。

意見

指定管理を任せただけからといっても、委託した町側も監督する立場にあると思うので、町側と五戸町スポーツ振興公社が一緒になって解決してもらいたい。



ひばり野公園内にある池とベンチ

◆五戸町の新型コロナウイルス感染者数の状況は

町長 青森県が公表する情報のみしか把握できていない

質問①

三戸地方保健所管内でも新型コロナウイルス感染者が出たと伺っているが、五戸町の感染者数は何人いるのか。

答 若宮町長

感染者の人数については、市町村別の月ごとの累計感染者数を青森県が公表している。(五戸町の累計感染者数は左表)

五戸町の新型コロナウイルス感染状況

月別	累計感染者数
令和3年5月	1~10人
令和3年6月	0人
令和3年7月	1~10人
令和3年8月	11~50人

出典：青森県公表資料より

質問②

前記のうち、入院患者はいるのか。

答 若宮町長

入院患者についても、青森県が公表している情報のみで、県内全体のみの入院患者数しか公表していないため、五戸町民の入院患者数は把握できていない状況である。

質問③

今後の対策はどのようなにしていくつもりなのか。

答 若宮町長

感染者数が拡大すれば、自宅療養の方も増えるのではないかと懸念されるため、青森県や三戸地方保健所の要請によっては、五戸総合病院での新型コロナウイルス感染者の受入れや、宿泊療養施設の体制整備などを検討していかなければならないと考えている。

◆歴史みらいパークの展示物「代官所」で町長が執務を行った理由は

先頃、新聞等で拝見したが、テレワークの一環として、町長が袴(かみしも)を着用され、代官所で勤務されたとのことである。

質問①

あの建物は展示物として設置されており、会議等で利用できないはずだが、どのような手続をすれば利用できるのか。

答 若宮町長

おっしゃるとおり、設置目的や建築申請及び消防法の届出は展示物となっており、会議等では使用できない状況である。今回の使用は、代官所を管理する側として、日常の管理状況の確認と、活用方法等を検討するために町長の執務として行ったものである。

大沢 義之 議員

生年月日:昭和28年8月21日(68歳)

担当委員会:議会運営委員会

総務常任委員会(委員長)

当選回数:5回

●議員インタビュー
町民の皆様は議会議員を身近に感じてもらうことを目的に、毎号1人ずつ議会議員のインタビューを掲載しております。
今回は総務常任委員会の委員長を務める「大沢義之」議員へのインタビューです。
「インタビュー」..
広報常任委員長 川崎七洋



Q 本日はよろしくお願
いします。

A 大沢義之議員
よろしくお願いたします。

Q 大沢議員は大宇倉石
中市地区にお住まい
とお伺いしています
が、普段のお仕事は
何をなさっているの
でしょうか？

A 大沢義之議員

家で昔から引き継いで
きた農地がありますの
で、そこで農業を営ん
でおります。主にりんご
の栽培ですね。その他に梨
も栽培していますよ。

Q 梨を栽培されてい
る方はあまり聞か
ない気がします。ど
ういった品種を育て
ているのでしょうか？

A 大沢義之議員
りんごの方は、「紅玉」、
「ふじ」、それから「北斗」
くらいですね。

梨の方は、「長十郎」と
「日面紅(ひめんこう)」
ですね。

Q 五戸町の農家さん
方は、田んぼも一緒
にやられている方が
多いように思いますが、
大沢議員も田んぼを
やられているのでし
ょうか？

A 大沢義之議員

田んぼはありますが、
今は他の方に貸してい
ます。私ぐらいの規模では
赤字になってしまうので
田んぼはできません。

Q 確かに先頃発表さ
れた令和3年度米の
概算金は、6年ぶり
に1万円割れとなり
衝撃を受けました。

議員インタビュー

A 大沢義之議員

昔と比べて世の中の情勢が変わったので、田んぼで稼ぎを出すのは難しくなっていました。

なので、私と同じような悩みを持っている農家さんは、畑で稼ぎを出すように変わっていかねばならないのではと考えているところです。

A 大沢義之議員

すでに事例が存在するのですが、田んぼから畑に転換してにんにくの栽培を始めている農家さんがいます。田んぼとしてやっていた時よりずっと稼ぎになっているようです。

ですが、畑に転換できる田んぼはそう多くないですし、転換にかかる労力も大きいです。田んぼと畑では土壌が違いますからね。やはり若い人の労力が必要であると実感しています。

か？

また難しい問題ですね。



りんごの収穫作業の様子。今年はやや早く収穫時期を迎えました。

A 大沢義之議員

私も昔サラリーマンをやっていたのでわかるのですが、「農家の収入は安定しないのでは」というイメージが嫌がられる理由なのではないかと思えます。

ですが、実際のところ、普通のサラリーマンの何倍も稼いでいる専門農家さんがいるんです。確かに、そこまでの専門農家になるまでの道のりは簡単なものではないのですが、どんどん若い人を引き込んで、専門農家を増やし、たくさん稼いでもらえるようにしたいです。そうすれば、五戸町に



りんごの他に梨も栽培しています。

住んでいる人全体にその波及効果が広がって豊かになっていくと考えています。そういう未来を創っていくのが私たちの課題なのだと思います。

農業においても若い人なりの強みというのがあると思いますし、そういう世の中にしていきたいですね。

A 大沢義之議員

最近、私の周りの農家さんの中には、自分で農作物の販売先を見つけて出す人が出てきています。一般的な市場に出すのではなく、自分で値段を

つけて直接顧客に売るので、手取りが非常に良いという話を伺いました。もちろん、その分仕事量も増えて大変にはなるんですが、大変な分だけ収入が良いので、より健全な商業活動だと思っています。

今の世の中、「農業は作るだけ」では古くて、「作って売るまでが農業」という考えが現代の農業のあるべき姿だと思ってるので、これからは農業を営んでいる人も、商人のつもりで取り組むべきだと思えます。

若い人は、こういった商業活動が得意な方が多いと思うので、今現在サラリーマンをやっている方や兼業で農家をやっている方でも、専門農家の道に進めばきっと上手くやっけていけるんじゃないかなと感じます。

これらの施策で五戸町を発展させなければなりませんね。

A 大沢義之議員

五戸町の主要産業は農業ですからね。やはり農業を中心に考えないと五戸町の発展はありえないと考えています。農家の皆さんの所得を上げなければならぬし、若い人が専門農家になるに当たっての壁は、乗り越えるための後押しをしなければなりません。

農家の皆さんが元気になるっていけば、五戸町産品も有名になって、五戸町の知名度も向上させるなど、農業を観光資源の1つとして人呼びこむこともできるようになるんじゃないかと期待しています。

五戸町の農業の可能性を感じさせます。

ありがとうございます。今後の活躍を期待しています。

(了)

高齢者叙勲受章

町村議会議員として公共の福祉の向上や地方自治の振興発展に貢献したとして、赤坂百合子元議員が高齢者叙勲*（旭日単光章）を受章された。

その報告のため、令和3年9月6日に正副議長を表敬訪問、同年9月15日定例会閉会後に議員全員へあいさつに訪れ、議員当時の活躍などを振り返りながら、その御功労と御功績に深く敬意を表した。



令和3年9月6日、正副議長を表敬訪問された時の様子



令和3年9月15日、議員控室で受章のあいさつをされた時の様子

◎赤坂百合子元議員の主な経歴

平成7年5月に旧倉石村議会議員に初当選。以来、連続3期12年10か月在職し、この間、平成15年5月から平成16年6月まで旧倉石村議会議長を務め、平成16年7月の旧五戸町・旧倉石村の合併や議会の運営に尽力された。

*【高齢者叙勲】

春秋叙勲によって勲章を授与されていない功労者に対し、年齢が88歳に達した機会に勲章が授与され、毎月1日付けで実施している。

編集後記

57年ぶりに開催された東京オリンピック・パラリンピックが9月に全日程を終了しました。日本ではオリンピックで過去最多の58個、パラリンピックで過去2番目の多さとなる51個のメダルを獲得し、まさに大躍進と言える成績を残して日本中を歓喜に沸かせてくれました。

そして、喜びの中にある我々を待ち受けていたのは、新型コロナウイルス第5波の到来でした。第5波は青森県全域を飲み込み、我々の生活を過去にないほど脅かしました。しかし今、その第5波の終わりが見えてきました。我々の日々の努力が感染拡大の波を抑え、被害を最小限に食い止めたのだと思います。いつ終わるとも知れないコロナ禍ではありますが、この第5波は我々のやってきたことが間違っていないという証拠を残してくれたとも言えます。

私も先日、遠くの知人を失いました。せめてこれ以上の悲劇が広がらないよう、これまでやってきた確かな対策を油断せず頑張ってくださいませ。

委員長 川崎 七洋

議会を傍聴してみませんか

12月定例会は11月30日開会予定です。
詳しくは議会事務局まで
TEL 62-2111 (代表)
日程が決まり次第「五戸ちゃんねる」
五戸町ホームページでもお知らせします。

次回の議会だよりは、令和4年1月発行予定です。

広報常任委員会

委員長 川崎 七洋
副委員長 豊田 孝夫
委員 和田 智也
委員 柏田 匡智
委員 鈴木 隆也
委員 大久保 和夫
発行責任者
議長 三浦 專治郎
令和3年10月22日発行